

承認番号	(61AM)第4172号
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年10月

M-18

ケイシカジュツブトウ

漢方製剤

*劇薬(500g包装品のみ) マツウラ 桂枝加朮附湯 エキス顆粒

貯法: 室温保存。その他、
「取扱い上の注意」の項参照
使用期限: 容器又は外箱に表示

《組成・性状》

1. 組成

本品 6 g 中

日局ケイヒ	4.0 g
日局シャクヤク	4.0 g
日局タイソウ	4.0 g
日局ショウキョウ	1.0 g
日局ソウジュツ	4.0 g
日局カンゾウ	2.0 g
日局ブシ	1.0 g

上記より製した桂枝加朮附湯乾燥エキス4.0gを含有する。
添加物としてヒプロメロース、ステアリン酸Mg、乳糖水和物、デキストリン、トウモロコシデンプンを含有する。

2. 製剤の性状

本品は褐色の顆粒剤で、特異なにおいがある。
識別コード(分包品): 18, マツウラ

《効能・効果》

神経痛、関節痛

《用法・用量》

通常成人 1日 6 g を 2~3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢・体重・症状により適宜増減する。

《使用上の注意》

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1) 体力の充実している患者 [副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。]
- (2) 暑がり、のぼせが強く、赤ら顔の患者 [心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があらわれるおそれがある。]

2. 重要な基本的注意

- (1) 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- (2) 本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。
- (3) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。ブシを含む製剤との併用には、特に注意すること。

3. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(1)カンゾウ含有製剤 (2)グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパチーがあらわれやすくなる。「重大な副作用」の項参照	グリチルリチン酸は尿細管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

4. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

(1) 重大な副作用

- ① 偽アルドステロン症: 低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。
- ② ミオパチー: 低カリウム血症の結果としてミオパチーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

	頻度不明
過敏症 ^{注)}	発疹、発赤、痒痒等
その他	心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等

注) このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

5. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

6. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。[本剤に含まれるブシの副作用があらわれやすくなる。]

7. 小児等への投与

小児等には慎重に投与すること。[本剤にはブシが含まれている。]

《取扱い上の注意》

- 直射日光・湿気を避けて保管すること。
- 吸湿し易いため、開封後は密栓して保管すること。
- 天然物を成分としていますので、若干色調の異なることがあります。効果には変わりありません。


《包装》

500 g
2 g × 84包
2 g × 300包

**《文献請求先・製品情報お問合せ先》

松浦薬業株式会社 信頼性保証部
〒466-0054 名古屋市昭和区円上町24-21
TEL 052-883-5172 FAX 052-883-5159

製造販売元

**  松浦薬業株式会社
名古屋市昭和区円上町24-21